

いずみいのちの森の活動（都市緑化フェア）

皆さん、こんにちは。

都市デザイン部長の八木です。

秋の紅葉も終わり、この頃は木枯らしが吹き付ける寒い日がつづき、本格的な冬を迎えます。

落葉樹が裸になりはじめると、いずみいのちの森プロジェクトにとっては植樹に最適な時期になります。

いのちの森プロジェクトは、市内に18万本の植樹を目標に、将来の子供や市民のいのちを守る森（緑）づくりを行っています。

平成22年度から始めた当プロジェクトも早や9年。来年は10年目で最終年度になります。平成30年10月末日までの実績は約16万本となっており、このペースで行きますと目標本数を達成できるものと考えており、みなさまのご協力をお願いいたします。

プロジェクト活動のひとつとしての都市緑化フェアでの様子を紹介します。

池上曽根史跡公園にて11月10日・11日の両日、いずみいのちの森のブースにて、来場者を対象に、プロジェクトのPR活動と植樹用の苗木を無料配布いたしました。



いずみいのちの森実行委員会の皆さまと苗木の配布を行いました。



いずみいのちの森プロジェクトの活動内容のPR



連日、200名の行列になり、大盛況となりました。



今回配付した苗木は、
ブルーベリー、ジュンベリー、マンリョウ、コクチナ
シ、オタフクナンテン、レモンを用意しました。

